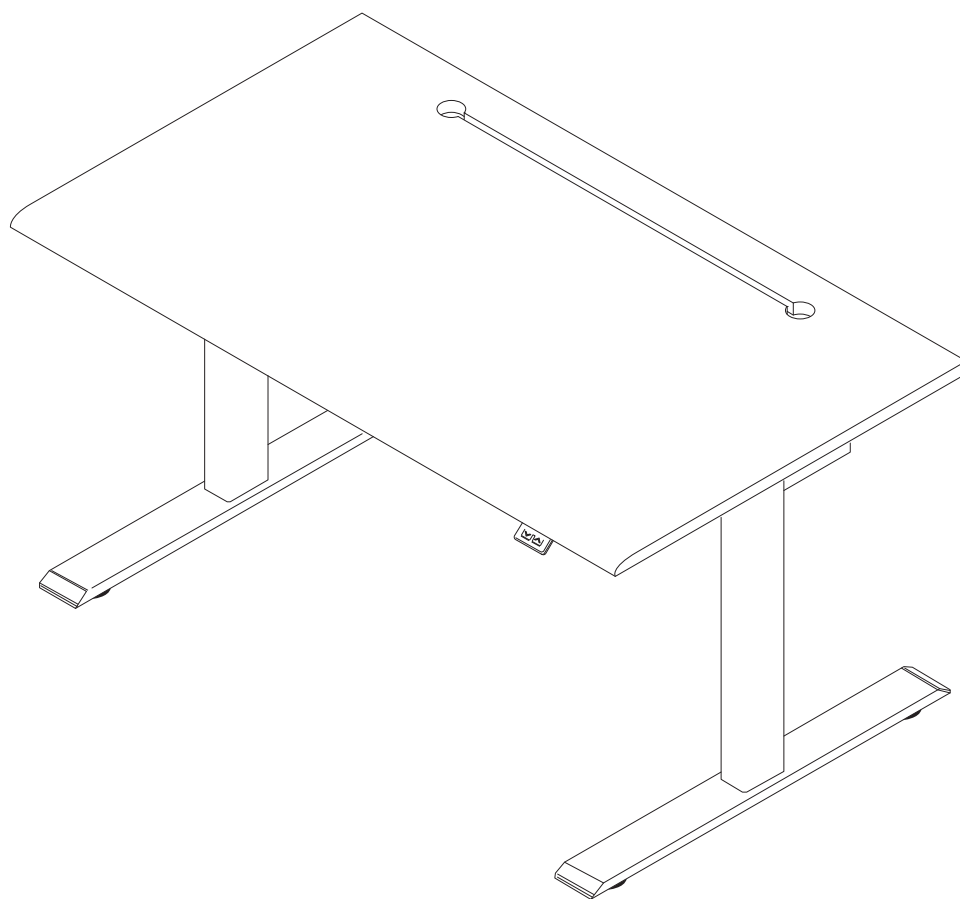


# WAAKstanding

## ワアクスタンディング ユーザーマニュアル



この度はワアクの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

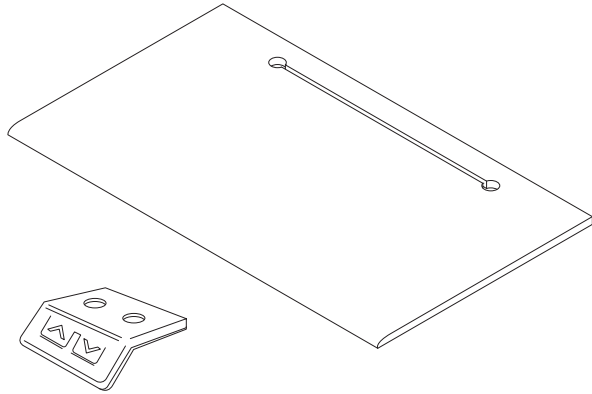
このマニュアルにはWAAKstandingの組み立て方法から使用上の注意まで、

デスクを安全で快適にお使いいただくために大切なことを記載しています。

マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

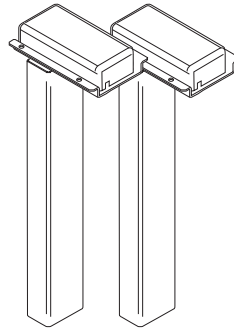
WAAK<sup>o</sup>

# 入っているパーツ

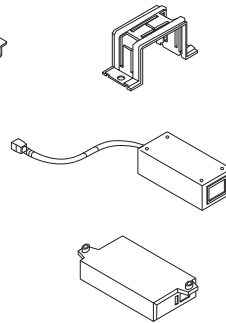


リモコン

天板



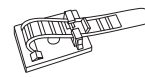
コラムx2



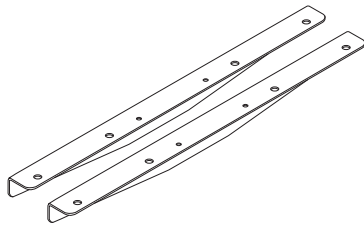
ACアダプター固定座

ACアダプター

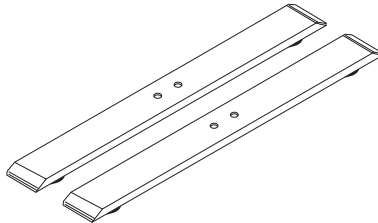
コントロールボックス



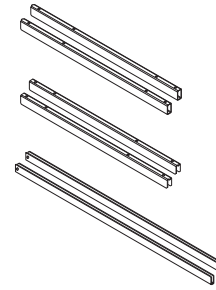
配線固定ベルト x6



サイドブラケットx2



フットパネルx2



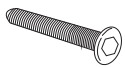
フレーム  
左右2本1組x2

センターレール  
x2

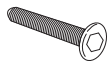
## 付属のボルト類



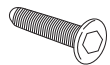
- ①天板固定ボルト(手順2で使用)  
M6x15 8本



- ②コラム固定ボルト(手順4で使用)  
M6x35 8本



- ③フレーム固定ボルト(手順5で使用)  
M6x30 8本



- ④フットパネル固定ボルト(手順6で使用)  
M10x30 4本



- ⑤コントロールボックス固定ボルト(手順7で使用)  
M4x16 2本



- ⑥アダプター座・リモコン固定ボルト(手順7・8で使用)  
M4x12 4本

## 必要な工具



プラスドライバー



4mm六角レンチ  
(付属品)

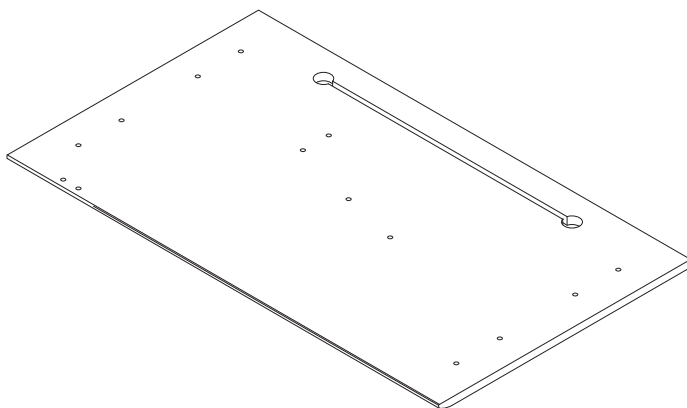


6mm六角レンチ  
(付属品)

## 組み立ての手順

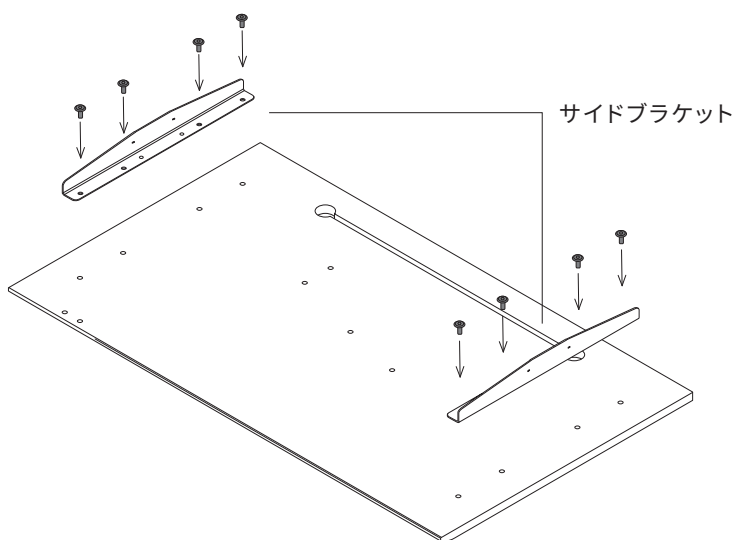
### 1.

キズが付かないように床に何もないことを確認し、天板を裏面(穴がある面)を上にして置きます。



### 2.

サイドブラケットを①天板固定ボルトで片側4カ所ずつ、計8カ所固定します。



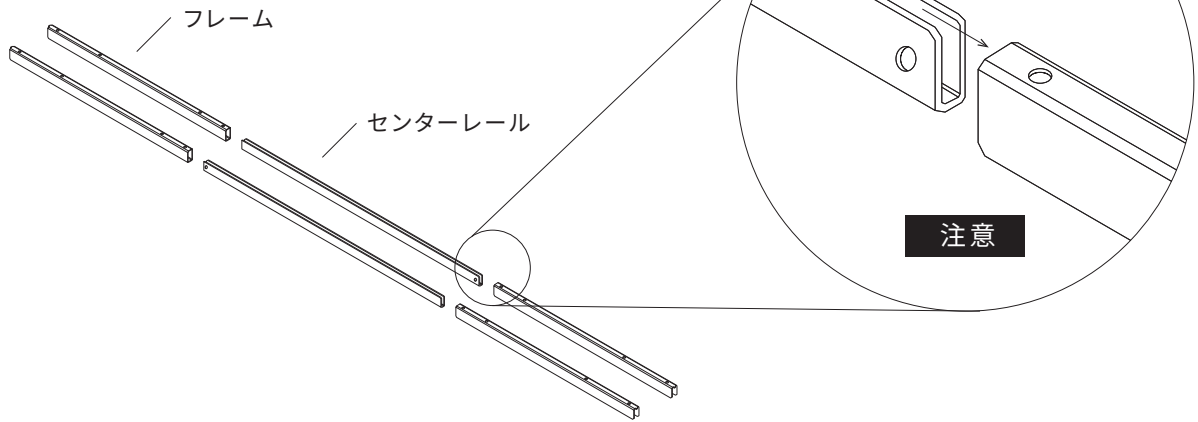
4mm六角レンチ

## ⓘ 注意!必ずご確認ください

天板固定のボルトを間違えると、天板を貫通して破損するおそれがあります。  
必ず黒色の①天板固定ボルトをご使用ください

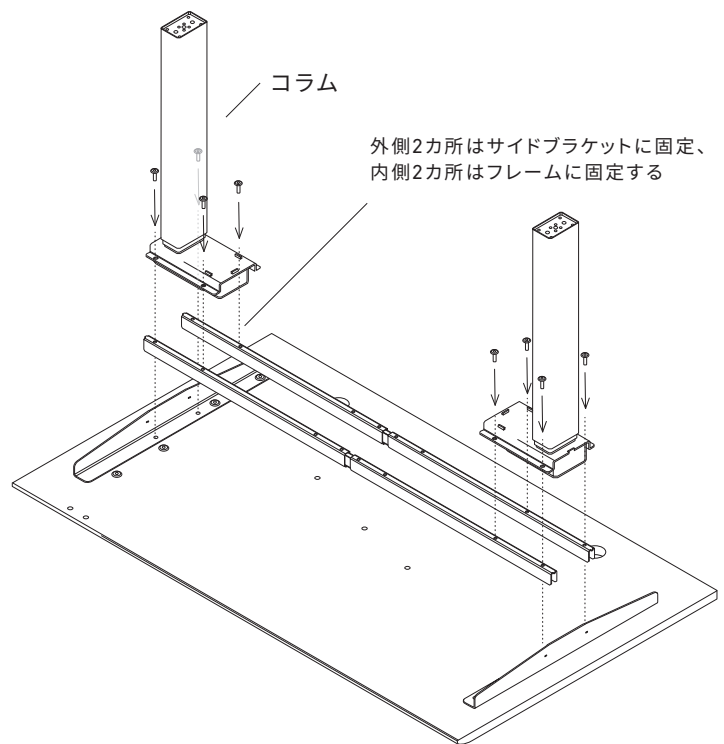
### 3.

センターレールの両側にフレームを差し込んでください。(まだ固定はしないでください)



### 4.

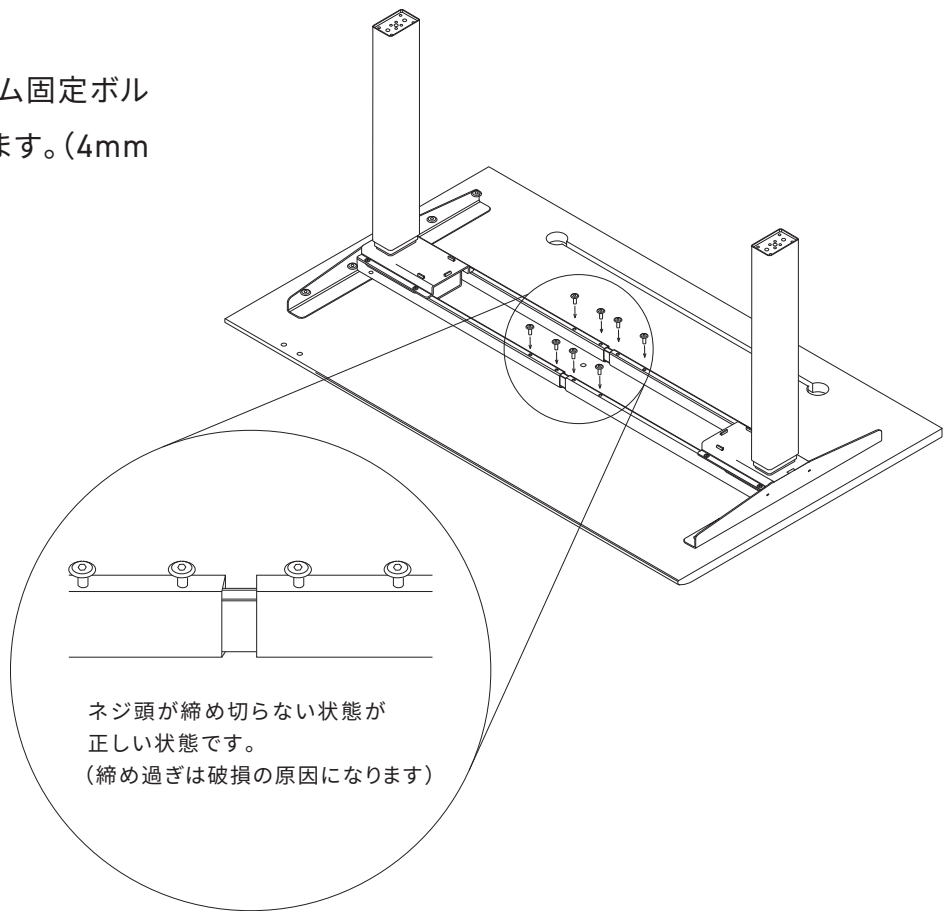
工程3で組み合わせたフレームをサイドブラケットに合わせ、長さを調整します。両端にコラムを合わせ、シルバーの②コラム固定ボルトで片側4カ所ずつ、計8カ所固定します。グラツキの原因になりますのでしっかりと締めてください。(4mm六角レンチ)



4mm六角レンチ

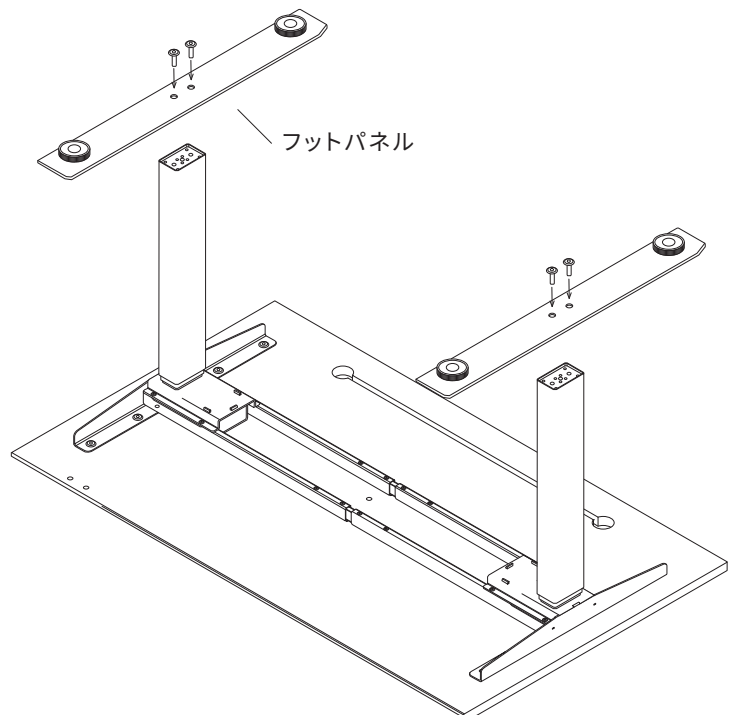
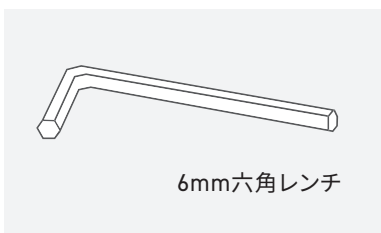
## 5.

フレームをシルバーの③フレーム固定ボルトで8カ所固定し長さを固定します。(4mm六角レンチ)

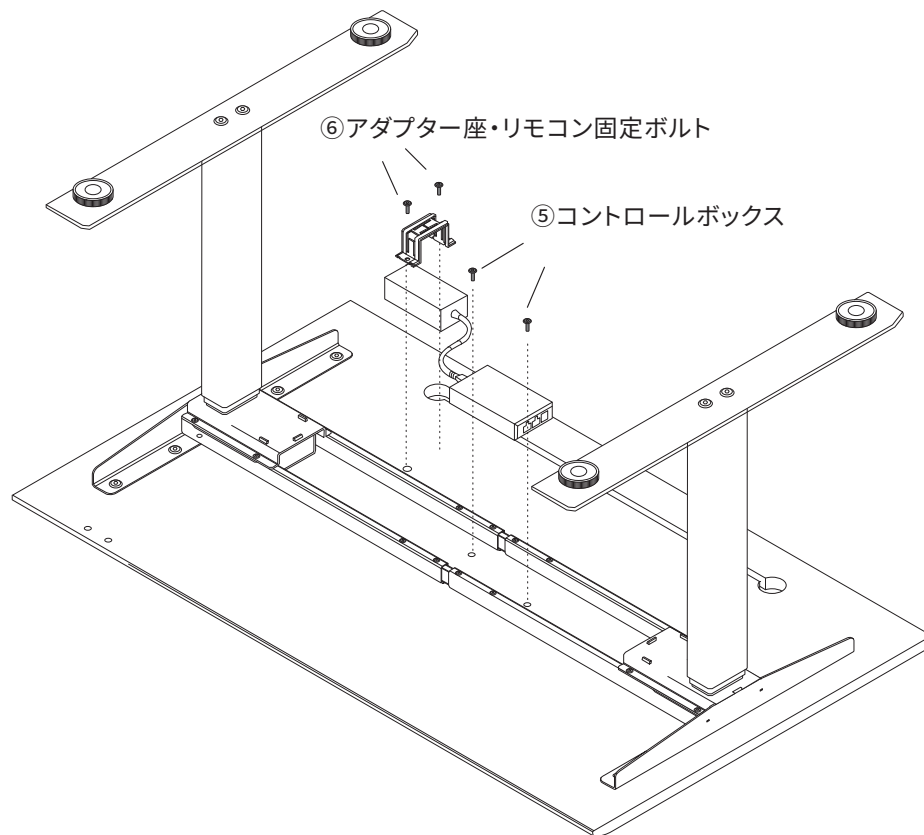


## 6.

フットパネルをコラムにのせて、シルバーの④フットパネル固定ボルトで片側2カ所ずつ、計4カ所固定します。(6mm六角レンチ)



# 7.

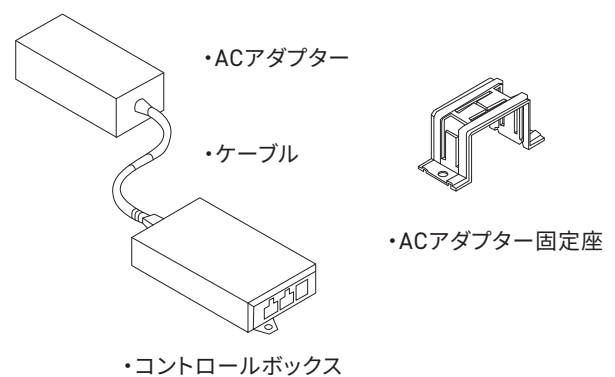


●コントロールボックスを⑤コントロールボックス固定ボルトで図のように2カ所天板の金具穴に固定します。(向きに注意する)

●ACアダプターを固定座にかぶせて、⑥アダプター座・リモコン固定ボルトで2カ所天板の金具穴に固定します。

※残った2本は次の手順8で使用します。

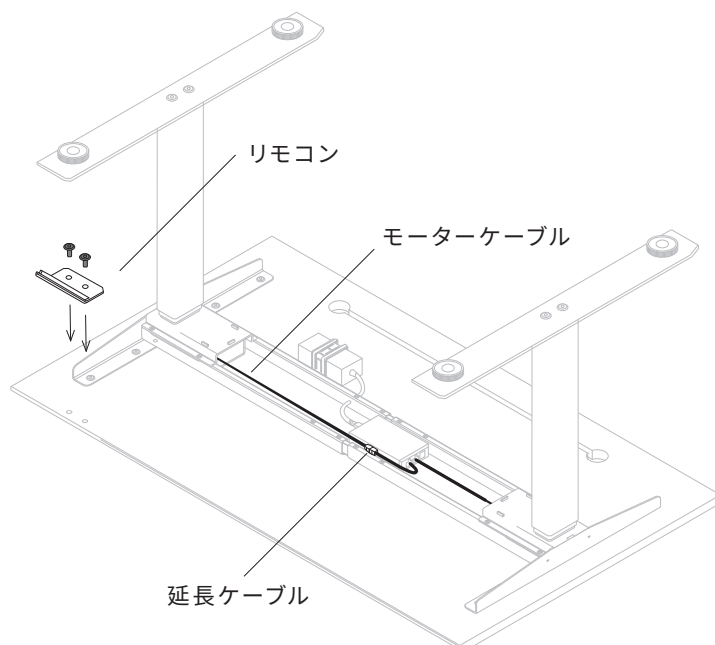
●ケーブルをACアダプターとコントロールボックスに差し込み接続します。



プラスドライバー

## 8.

リモコンを⑥アダプター座・リモコン固定ボルトで2カ所天板の金具穴に固定して、リモコンケーブルをコントロールボックスに差し込みます。



## 9.

●両側コラムのモーターケーブルをコントロールボックスに接続してください。

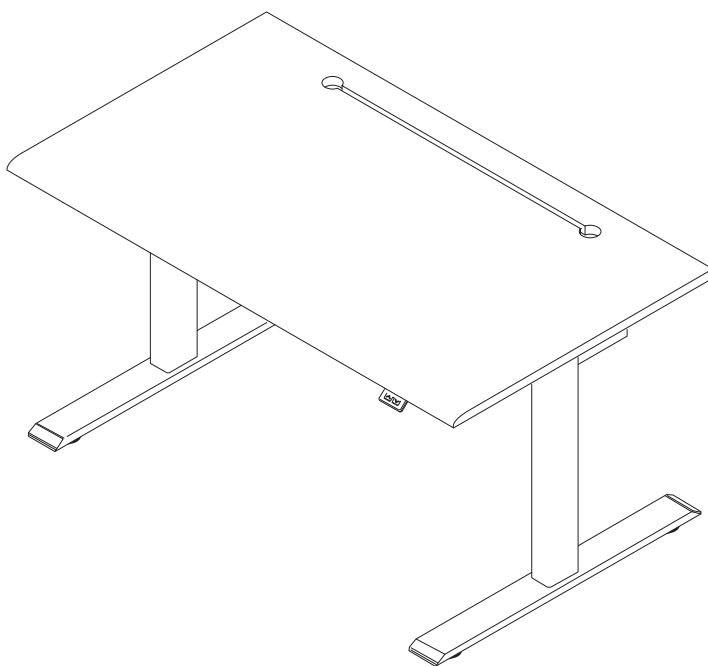
※ケーブルの長さが足りない場合は延長ケーブルを使用してください。

※配線固定ベルトに配線を通し、両面テープで天板裏面に貼り付けると配線が垂れるのを防止できます。

●最後に電源ケーブルをACアダプターに接続してください。電源が入ります。

## 10.

周囲にぶつかりそうな物がない事や作業する人以外人がいない事を確認し、デスクの左右を2人で持って反転させます。ガタツキがある場合は、アジャスターで調整してください。



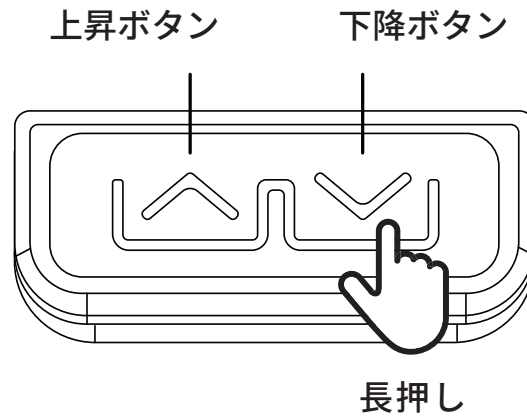
## ① 初回使用時に必ず「リセット」してください。

※リセットの方法は次のページで説明しています。

### 注意

- テーブルの上に障害物がないことを確認してください。
- 天板が壁に触れていないことを確認してください。
- 全てのコードが高さの変化に対応できる適切な長さであることを確認してください。

## ハンドセット操作説明



❶ 初回使用時に必ず「リセット」してください。

### リセットの方法

1. 下降ボタンをデスクの高さが最低位に下がるまでに長押しします。
2. ボタンから手を離して、もう一度下降ボタンを押し続けます。
3. デスクが少々下がって、上がるまでにリセット完了です。

### トラブルシューティング

デスクが正常に機能していない場合、全てのコードが接続されていることを確認した後、電源コードを改めてソケットに差し込んで、リセットを実行してください。

※リセットしてもエラーの場合は、Web サイトよりお問い合わせください。



# 配線トレーの取り付け方

※配線トレーオプション購入者のみ

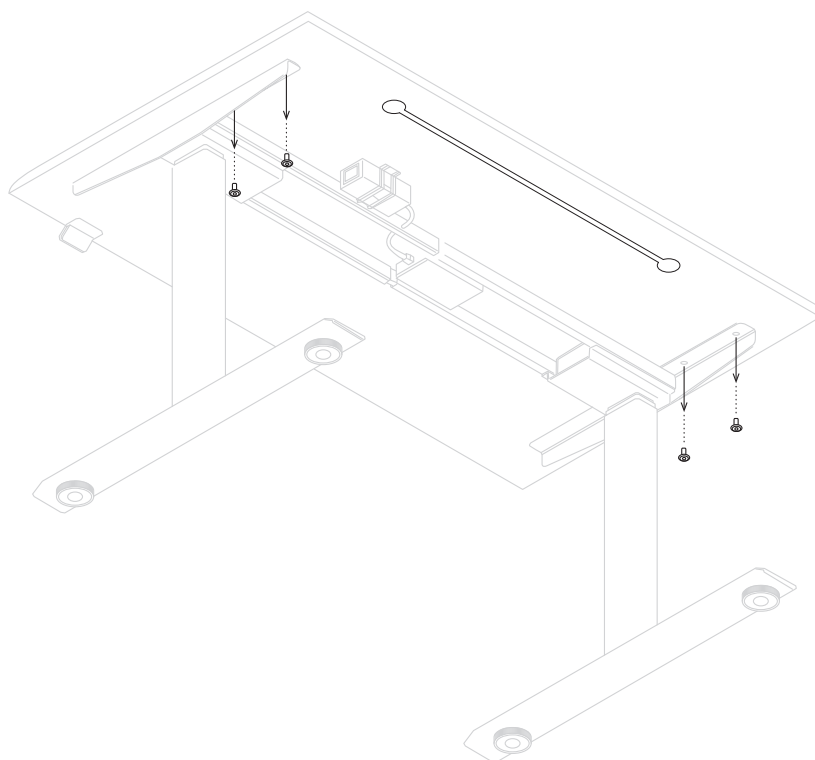
❗必ず2人以上で組み立ててください

## 1.

デスク後部(配線溝側)のサイド  
ブラケットのボルトM6x15を片側  
2カ所ずつ、計4カ所はずします。



4mm六角レンチ



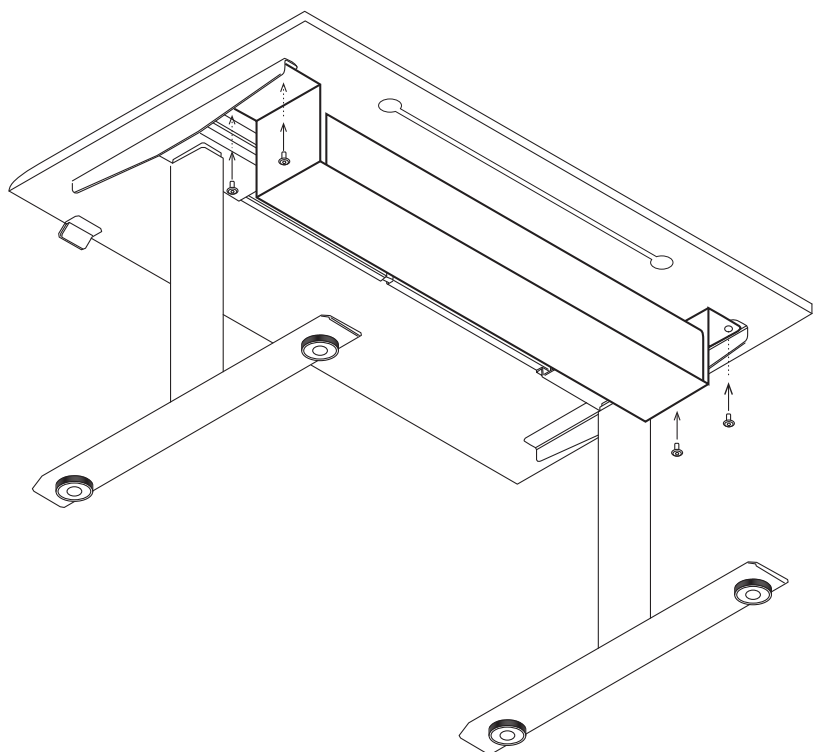
## 2.

手順1でボルトをはずした箇所に穴  
位置を合わせて配線トレーを取り付  
けます。

手順1ではずしたボルトM6x15で片  
側2カ所ずつ、計4カ所固定します。



4mm六角レンチ



# 安全にお使いいただくために

ご使用に際しては必ず以下の事を守り、安全にご使用ください。

## 組み立て・調整・分解

- 組み立ての際には、組み立てる人以外周囲に人がいない事を確認してから作業してください。
- 本製品は脚(約25kg)と天板(約14kg)重たいため、二人以上で組み立てすることを推奨しております。
- アジャスターで高さ調整する際は、手や足をはさまないように持つ人と調整する人など必ず複数人で行ってください。
- 固定しているボルトの弛みによるガタツキが生じた時は、速やかに締め直しを行ってください。予期せぬ分解、転倒により大きな事故やケガにつながる恐れがあります。
- 引っ越しなどで分解する際は、必ず天地を反転させて天板を床に付けた状態でボルトを弛めてください。

## デスクの移動

- 机上に物が乗った状態で移動させないでください。特にパソコンなどの電子機器をケーブルなどつないだままの状態でも移動させた場合、断線や本体落下など重大事故につながります。絶対にお止めください。
- 机を運搬する際には、必ず左右を2人以上で持って運んでください。

## 不具合・修理・改造について

- 製品に故障・不具合が生じたら直ちに使用を停止し速やかに販売店までご連絡ください。
- 改造、修理・補修、塗装などは故障の原因となりますので絶対に行わないでください。上記事項を行った場合は、メーカー保証の対象物、対象期間であった場合も保証の対象外となります。

## 使用について

- このデスクは屋内専用です。屋外でのご使用はお止めください。
- 必ず水平で安定した場所で設置、使用してください。段差や傾斜のある不安定な場所に設置した場合、転倒によるケガの原因となります。
- デスク上に立ったり、デスク上に座ったりすることは絶対にお止めください。転倒によりケガをする恐れがあります。
- デスクにもたれかかったり、デスクの端に重いものを乗せないでください。転倒、破損事故の原因となります。
- 専用のオプションパーツ以外のものを取り付けるのはお止めください。取り付けされた場合はメーカー保証の対象外となります。
- 昇降操作をするときは天板の周囲、特に下に障害物が無いことを確認してください。電源などのケーブル類は、天板最大高さでの使用状況において十分なケーブル長さのものを使用してください。
- すべての電子部品は液体に接触させないようにしてください。
- デスクの下に、高さ50cm以上の物を置けないようにしてください、デスク下降時による物の破損原因となります。